

茨城の豆知識



着々と整備が進む
広域交通ネットワークと
進化し続ける産業拠点

都心へのアクセスも
さらに便利に!
上野~水戸 65分
秋葉原~つくば 45分



東京 ● 常磐線
東京駅乗り入れ
2014年度完成予定

主要な項目

人口	2,943千人	全国 第11位(H24.10.1)
可住地面積	3,981.73km ²	全国 第4位(H23.10.1)
1人当たりの県民所得	2,978千円	全国 第5位(H22年度)
工場立地面積	1,317ha	全国 第1位 (10年間 累計[H15~H24年])
製造品出荷額等	10兆5,368億円	全国 第8位(H23年)
農業産出額	4,097億円	全国 第2位(H23年)
海面の漁獲量	154,400t	全国 第5位(H24年)
高齢者近住率(*1)	78.0%	全国 第2位(H22年)
つくばの研究者数	20,258人	うち博士号保持者8,243人(H23.1)
耕地面積割合	28.5%	全国 第1位(H24.7.15)
住宅敷地面積 (1住宅当たり)	428.52m ²	全国 第1位(H20.10.1)
道路実延長	56,219km	全国 第2位(H23.4.1)

(*1)子どもが同居、同一家屋、同一敷地及び近隣地域に住んでいる65歳以上人口の割合

産業拠点

●本県の工場立地動向

	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
面積	165	121	71	190	38	242
順位	3	5	4	1	7	2
件数	92	79	50	39	18	51
順位	5	5	2	5	20	8
県外	47	43	32	21	12	30
件数	1	1	1	1	6	1

●各産業拠点

日立	電機・機械産業等の集積	●日立製作所の協力企業を中心に約1,300社
東海	原子力研究機関の集積	●日本原子力研究開発機構 ●東京大学、茨城大学など ●大強度陽子加速器施設(J-PARC) (H20年12月稼働) ●ニュートリノや物質・生命科学の研究において世界をリード ●茨城県でも物質・生命科学分野の実験装置を整備
つくば	研究機関等の集積	●国等の教育・研究機関等: 32機関 (全国の国等の研究開発法人の約1/3が集積) ●つくば国際戦略総合特区の指定(H23.12.22) 次世代がん治療や生活支援ロボットの実用化等を推進
鹿島	素材産業の集積	●鉄鋼や石油化学産業等の企業160社

豊富な農林水産物

●全国に誇る主要農林水産物(H23年品目別産出額)

全国第1位	全国第2位	全国第3位
メロン、鶏卵、ピーマン、レンコン、ほしいも、みず菜、チンゲンサイ、芝、くり、切り枝、みつば	豚、レタス、はくさい、かんしょ、梨、ごぼう、落花生	ねぎ、にら、スイートコーン、かぼちゃ、らっきょう、パセリ、しそ、そらまめ、カリフラワー、こんにゃくも
あゆ、えび類(淡水)、こい(養殖)	まいわし、わかさぎ、しらうお(淡水)、こい(天然)、うなぎ、はぜ類(淡水)	さば類、ひらめ、しじみ

(注)水産物は漁獲量で比較

●東京都中央卸売市場における茨城県産青果物のシェア(金額) →9年連続 全国第1位(H16~H24)

広域交通ネットワーク等

つくばエクスプレス	つくば~秋葉原→45分
常磐線	水戸~東京→77分
茨城空港	茨城~神戸 毎日2往復
	茨城~札幌 毎日2往復
	茨城~上海 週6便(水曜を除く毎日) 茨城~那覇 毎日1往復(神戸経由)
茨城港(18航路)	・北米定期コンテナ航路 北米西岸(バンクーバー・シアトル等)【月1~2便】
	・韓国・中国定期コンテナ航路(釜山・上海等)【週1便】
	・中国・フィリピン・ベトナム・タイ定期コンテナ航路(上海・バンコク・マニラ等)【週1便】
	・内航フィーダー航路 常陸那珂一鹿島一京浜(東南アジア航路等に接続)【週1便】 北海道との定期航路 釧路・苫小牧【週31便】
鹿島港(2航路)	・内航フィーダー航路(再掲) 常陸那珂一鹿島一京浜(東南アジア航路等に接続)【週1便】
	・韓国・中国定期コンテナ航路 釜山・上海等【週1便】(休止中)

●いばらきブロードバンドネットワーク(IBBN)

- 県及び県内全市町村を最大10ギガビット/秒で結ぶ高速大容量の情報通信基盤(全国トップレベル)
- 民間企業に無償で開放(H25.11.1現在 131社利用承認済)
- テレビ会議システムの構築などによりがん医療や小児・周産期医療を支援

保健・福祉・医療の充実

●高齢者をはじめとする県民の健康づくり

- ◆「シルバーリハビリ体操指導士」養成
 - 養成者数 累計5,756名(H25.10)
- ◆地域ケアシステムの推進
 - 高齢者や障害のある方などの自立支援及び生活支援を行うため、在宅ケアチームを編成(7,949チーム:H25.3末)

●少子化対策

- 「いばらき出会いサポートセンター」の成婚数: 1,092組(H25.10末)
- 子育て家庭優待制度の実施(H19.10~)協賛店舗数: 4,824(H25.10)

●医療対策

- ◆医師確保の推進
 - 地域医療支援センターを県庁内に設置(H24.4)
 - 寄附講座の開設(H22~H25 5大学)
 - 医科大学における茨城県地域枠等の設定(H25 6大学 29名)
- ◆医療体制の充実
 - ドクターヘリの運航開始(H22.7)、ドクターヘリ北関東3県広域連携開始(H23.7)
 - 県立中央病院に救急センター(H23.2)、循環器センター(H23.4)を開設、タ・ウィンチ(手術支援ロボット)による手術開始(H25.9)
 - 県北地域に救命救急センターを設置(日製日立総合病院H24.10)

安心・安全で快適な生活環境づくり

●安心・安全な暮らしの実現

- 防犯ボランティア団体: 971団体、67,776人(H25.8末)
- 青色防犯パトロール団体: 176団体、802台(H25.8末)

●地球温暖化対策

- 茨城エコ事業所登録制度: 登録数1,863事業所(H25.9)
- レジ袋無料配布中止の取組店舗数: 560店舗(H25.4)

●水質保全対策

- 「霞ヶ浦(西浦・北浦・常陸利根川)」(湖面積が全国第2位)
- 「第6期霞ヶ浦湖沼水質保全計画」に基づく水質保全対策の実施
- 森林湖沼環境税を財源として、水質保全対策を強化(H20年度~)

●再生可能エネルギーの導入(合計327,577kw)

- 太陽光発電/住宅用 設備容量: 98,122kw(H24.12、全国14位)
非住宅用 設備容量: 23,516kw(H25.3)
- 風力発電/設備容量: 104,280kw(H25.3)
- バイオマス発電(木質系)/設備容量: 83,290kw(H22.1、全国4位)
- 中小水力発電/設備容量: 18,369kw(H25.3)

いばらきの未来を担う人づくり

●学力向上対策

- ◆少人数教育充実プラン推進事業
 - 30人程度の少人数学級や非常勤講師とのチーム・ティーチングによる指導
対象: 小学1~4年生、中学1年生
- ◆学びの広場サポートプラン事業
 - 大学生等がサポーターとして、四則計算など児童の学習を支援
対象: 小学4・5年生 期間: 夏休みに最大5日間
- ◆国際社会で活躍できる人材育成事業
 - 発音ソフトの導入活用 対象: 全公立中学校
 - 英語によるディベート 対象: 高等学校(21校)
 - 茨城県高校生国連グローバルセミナー

●社会性や自立心の育成

- ◆お手伝い・ボランティア奨励事業
 - 「おてつだいちょう」を県内小学校1年生全員に配付
- ◆いばらき版高等学校「道徳」教育推進事業
 - 平成19年度から全県立高校の1年生で「道徳」を実施

●理科教育の充実

- ◆いばらき理科教育推進事業
 - 小学校教科担任制の導入
 - 理科ボランティアの派遣
- ◆いばらき版サイエンスハイスクールの指定

●郷土教育の推進

- ◆いばらきの魅力再発見事業 対象: 小学生
- ◆いばらきっ子郷土検定事業 対象: 中学2年生

●いばらき教育の日・教育月間

教育に対する関心と理解をいっそう深める機会として、毎年11月1日を「いばらき教育の日」、11月を「いばらき教育月間」と制定

茨城県公式携帯サイト
最新の県政情報!!満載
<http://mobile.pref.ibaraki.jp>



- 県政ホットニュース
- お知らせ・募集
- 災害・防災情報
- 救急医療案内
- 観光イベント情報 など